

英文監査報告書 作成の実務

— 様式や指摘・改善提案の文例等の事例を交え作成上の留意点を解説 —
「内部監査実務マスター・コース」〔第7回開催分（全9会合）〕

- 日時 ● 2017年3月14日（火）14:00～17:00
- 会場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

30年余りの大手監査法人勤務のうち、前半は主に会計監査に従事し、後半は国内外の数多くの企業に対する内部監査の支援やコンサルおよび外部評価、J-SOX・US-SOXの内部統制支援、不正調査およびリスク管理等のアドバイザリー業務の経験を経て、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任し、現在はUDトラックス株式会社監査役/ABボロボのコーポレートオーディット・ダイレクターとして監査実務を継続中。一方で内部監査関連の執筆や講演活動にも従事、豊富な実務経験をベースに具体的事例を交えた実践的でわかり易い語り口で好評。最近の著書「内部監査の課題解決法 20」税務経理協会、論文「海外監査の検討課題～成熟度レベルに応じた問題認識と対応」一般社団法人日本内部監査協会「月刊監査研究」2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応～最適化シナリオに向けて」同2012年3月号掲載。公認会計士、公認内部監査人、米国公認会計士（現在 inactive）。

●プログラム●

●講義／英文監査報告書 作成の実務 <14:00—16:00>

海外監査を完結させるのは監査人が自ら書いた英文レポートです。たびたび海外の監査に出かけていても英語で監査報告書を書くのは自信が持てない内部監査人は少なくなく、報告書作成の外部委託も見られます。その背景には参考となる事例や文献が少ないとか実務研修の機会がないなどの事情があります。英文報告書は海外監査に残された最後の課題のようでもあります。しかし英文も含めて報告書の作成までが内部監査人の仕事です。

そこで今回は英文内部監査報告書の様式や指摘・改善提案の文例を挙げて事例を解説しながら留意点を説明いたします。また監査プロフェッショナルとして知っておきたいビジネス英語の流儀や日本的な習慣や思考体系から書いた英文が海外で意図したように伝わらないといった例も併せて紹介します。

1. 英文内部監査報告書の様式と標準文例

- ・英文監査報告書の書式、構成および記載項目の考え方

2. 指摘事項、改善提案の英文事例の検討

- ・指摘、改善提案の英文事例によるロジックと文章表現

3. 監査プロフェッショナルとして知っておきたいビジネス英語の流儀

- ・英訳すると通じにくい日本語の慣用表現、監査人が留意すべきビジネス英語のポイント例

●講義をベースとしたディスカッション&総括コメント <16:00—17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

[本体価格 26,000円 本体価格 29,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者をご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社）企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951～2

160188	2017 3/14 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

※裏面もご覧ください